

「二・二六事件と広田弘毅内閣」関係年表

明治18	1885	12. 22 内閣制度制定。宮中に内大臣	昭和10	1935	12. 18 北京に宋哲元の冀察政務委員会
27	1894	8. 1 清に宣戦布告。日清戦争始まる	11	1936	2. 26 二・二六事件。皇道派青年将校ら1483人、首相官邸など襲撃。斎藤実(内相)、高橋是清(蔵相)ら4人を殺害
28	1895	4. 17 下関で日清講和条約調印			2. 27 東京全市に戒厳令布告
		4. 23 露・独・仏、遼東半島還付要求(三訂條)			2. 29 反乱鎮圧◆陸軍「極秘 事件処理要綱」
		5. 10 遼東半島還付の詔勅発布			3. 3 陸軍7大将、引責の現役引退を申し出
31	1898	6. 30 大隈重信内閣成立。初の政党内閣			3. 5 広田外相に組閣の大命
33	1900	5. 19 官制改正、軍部大臣現役武官制に			3. 6 寺内寿一(陸相)、 <small>(陸相)</small> 「全軍の要望」声明
		6. 20 義和団、北京の各国公使館包囲			3. 9 広田内閣成立。馬場鉄一蔵相、公債漸減方針の放棄など「高橋財政」を修正
34	1901	8. 14 日本など8カ国の連合軍、北京を解放			3. 10 天皇、寺内に異例の「叱責の勅語」
		7. 3 日本、北清駐屯軍編成(45年 支那駐屯)			3. 17 広田内閣、「庶政一新」の内閣声明
37	1904	2. 10 露に宣戦布告。日露戦争始まる			4. 28 二・二六事件の陸軍軍法会議始まる
大正1	1912	12. 5 西園寺公望内閣、陸相辞職で総辞職			5. 7 衆院で斎藤隆夫(蔵相)、「肅軍演説」
2	1913	6. 13 山本権兵衛内閣、現役制(軍制)廃止			5. 18 軍部大臣現役武官制復活◆阿部定、愛人を殺害し逃亡(20日 齋藤 6年の獄)
3	1914	7. 28 第1次世界大戦始まる			5. 24 夏場所千秋楽で関脇双葉山全勝優勝
14	1925	5. 1 「宇垣軍縮」、4個師団を廃止			6. 5 参謀本部に戦争指導課を新設。初代課長に石原莞爾大佐
昭和3	1928	6. 4 張作霖爆殺事件			6. 8 「帝国国防方針」第3次改訂
4	1929	10. 24 米株式暴落。世界恐慌始まる			7. 5 反乱将校ら17人に死刑判決
6	1931	9. 18 柳条湖で満鉄爆破。満州事変始まる			7. 12 15人の死刑執行
7	1932	3. 1 満州国建国宣言			8. 1 ベルリン・オリンピック始まる
		5. 15 五・一五事件。犬養毅首相射殺される			8. 7 五相会議、「国策ノ基準」を決定
8	1933	1. 30 ヒットラー、独首相に就任			8. 11 前畑秀子、女子200m平泳ぎ優勝、ラジオ中継の「前畑がんばれ」に沸く
		2. 23 関東軍、熱河省に侵攻。「熱河作戦」			11. 4 陸軍が議会制度の刷新改善案
		3. 27 日本、国際連盟を脱退			11. 7 国会議事堂が完成し落成式
		4. 10 関東軍、万里長城を越え華北へ侵攻			11. 25 日独防共協定に調印
		9. 14 広田弘毅、斎藤内閣外相に就任			11. 28 30億4,100万円の12年度予算案決定
9	1934	1. 5 統制派幕僚グループ、「政治的非常事変勃発ニ対処スル対策要綱」作成			1. 7 大蔵省、輸入為替の許可制実施
		3. 1 満州国帝政を実施。皇帝に溥儀			1. 21 浜田国松(蔵相)、寺内と「腹切り問答」
		3. 3 「広田・ハルメッセージ」交換			1. 23 広田内閣総辞職
		7. 1 北京-奉天間の直通列車運転開始			1. 25 宇垣一成(蔵相)に組閣の大命
		12. 14 満州・中国間に郵便物相互取扱協定			1. 29 宇垣、組閣の大命を拝辞
		12. 19 ワシントン海軍軍縮条約の廃棄決定	12	1937	2. 2 林銑十郎(蔵相)内閣成立(5月31日 閣議)
10	1935	1. 25 広田外相「戦争はない」と衆院で演説			6. 4 第1次近衛文麿内閣成立
		2. 20 国民政府、排日取り締まりを発令			7. 7 盧溝橋事件勃発。支那事変始まる
		3. 6 国民政府、排日教科書の使用禁止			8. 19 二・二六事件北一輝ら4人の死刑執行
		3. 23 ソ連から北満鉄道買収の調印			8. 23 ドイツ、「独ソ不可侵条約」締結
		5. 2 天津で親日派新聞社長、2人が暗殺			9. 27 日独伊三国同盟ベルリンで調印
		5. 17 日中両国、公使の大使昇格を発表			12. 8 真珠湾攻撃。太平洋戦争始まる
		5. 29 支那駐屯軍酒井隆参謀長、河北省からの国民党機関、中国軍撤退を要求			8. 15 敗戦
		6. 7 関東軍、山海関に軍隊集結	14	1939	5. 3 東京裁判、市ヶ谷の旧陸軍省で開廷
		6. 10 中国、日本の要求を呑む(蘇・中協定)	15	1940	5. 14 広田夫人静子、服毒自殺
		6. 27 「土肥原・秦徳純協定」締結	16	1941	5. 22 第1次吉田茂内閣成立
		8. 12 永田鉄山陸軍軍務局長斬殺される	20	1945	11. 12 東京裁判、広田ら7人に死刑判決
		9. 6 英財政顧問リース・ロス来日	21	1946	12. 23 広田の死刑執行
		10. 7 「広田三原則」を中国大使に提示			
		11. 1 汪兆銘、狙撃され重傷(行政長・校長職)			
		11. 3 中国、銀本位制廃止。管理通貨制度へ	23	1948	
		11. 25 通洲(湖北省)に、殷汝耕の冀東政権			